

# 「脱 CO2 社会の実現による経済成長と持続的発展を考える」 専門委員会

地球規模での激甚災害の増加や環境影響の悪化など、地球温暖化対策は重要性を増しており、21世紀後半の温室効果ガス排出実質ゼロの達成に向けて、世界の主要国はエネルギー転換・脱炭素化に向けた取り組みを加速しつつあります。日本政府も成長戦略の柱に経済と環境の好循環を掲げて、グリーン社会の実現に最大限注力し、2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」を目指すことを宣言して、積極的に温暖化対策を行うことで、産業構造や経済社会の変革をもたらし、大きな成長につながるという発想の転換が求められています。このため、脱 CO2 社会の実現による経済成長と持続的発展に関心のある企業の皆様にご参加頂き、標記の専門委員会を新設します。

## 記

1. 名 称 : 「脱 CO2 社会の実現による経済成長と持続的発展を考える」 専門委員会

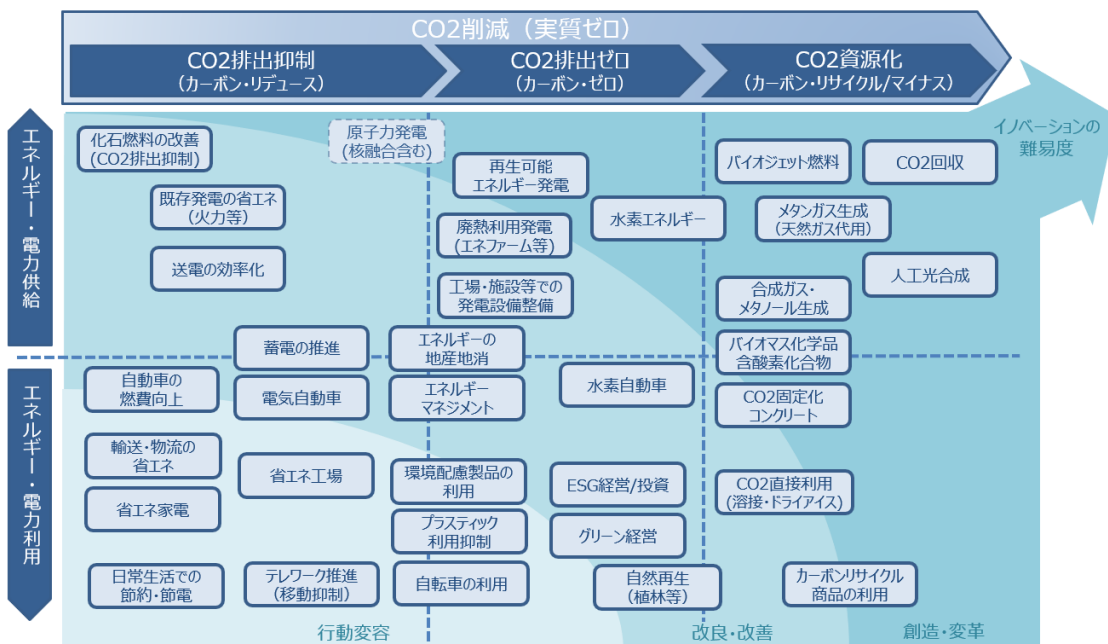
2. 活動目的・内容 :

脱 CO2 社会の実現には、燃料や電力などのエネルギーを「供給する側」と「利用する側」のそれぞれの立場での取り組みがある上に、実現方法についても主に以下の方向性があると考えられる。(詳細は下図参照)

- (1) 既存産業において技術や行動の改善・改良を推進する「CO2排出抑制」
- (2) CO2 を排出しない資源の供給・利用を促進する「CO2 排出ゼロ」
- (3) CO2 そのものを資源として有効活用を目指す「CO2 資源化」

脱 CO2 社会の実現には上記取り組みの複合的な成果として成し遂げられるものであり、これらのイノベーション創出や経済的な成長と発展について討議や検討を行う。なお、討議・検討内容や成果のうち提言すべき事項については、政策委員会と連携しJATES提言として取りまとめていく。

参考図:脱 CO2 社会の実現に向けた取り組みイメージ



3. 活動期間 : 2021年4月～2022年9月

#### 4. 委員会の構成

委員長 : 菅原 英宗 氏(エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株) 代表取締役副社長)

幹事 : 三井 辰介 氏(エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)  
プラットフォームサービス本部 事業推進部長)

藤森 俊郎 氏(株IHI 技術開発本部 技監)

小野島 一 氏(株大林組 技術本部 副本部長)

前田 裕二 氏(日本電信電話(株) 宇宙環境エネルギー研究所 所長)

鈴木 朋子 氏(株日立製作所 研究開発グループ

環境イノベーションプロジェクトリーダー 技師長)

太田 健一郎 氏((一社)科学技術と経済の会 常務理事)

アドバイザー : 柏木 孝夫 氏(東京工業大学 特命教授・先進エネルギー国際研究センター長)

堅達 京子 氏(株NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー)

羽鳥 浩章 氏((国研)産業技術総合研究所

ゼロエミッション国際共同研究センター 副研究センター長)

メンバー : 技経会会員を中心に当該分野に関心を持ち積極的な参加を頂ける会員企業等

#### 5. 活動計画

(1)具体的な範囲や進め方は別途計画を作成(現時点の計画案は別紙参照)

(2)報告書取りまとめと(必要な場合)政策提言

#### 6. メンバー選定

(1)技経会会員で当該分野に関心を持ち積極的な参加を頂ける会員企業、かつ具体的な活動計画に適した方に参加を要請する。

(2)技経会会員以外の企業であっても、委員長が認めた場合は、当該分野に関心を持ち積極的な参加を頂ける企業、かつ具体的な活動計画に適した方に参加を要請する。

#### 7. 参加費用

技経会会員企業 : 無料

但し、技経会会員以外の企業でも、委員長が認めた場合は、参加費 20 万円(通期)で 参加できる。

## 【別紙】

# 活動計画(案)

- ・2021年4月から2022年9月にかけて、活動を下記3つのフェーズに分け、各フェーズに適したテーマにて、概ね月1回のペースで講演会および見学会を実施
- ・脱 CO2 社会に向けた産官学の取組みと課題を俯瞰し、論点を明確化することで、参加企業間の自由闊達な議論とオープンイノベーションを促進

## 各フェーズの目的と考え方

- フェーズ1:国内外の脱 CO2 社会実現に向けた状況と日本政府の政策の調査
- フェーズ2:脱 CO2 社会実現に向けた排出抑制、排出ゼロ、資源化の技術、ESG 経営/投資動向の調査
- フェーズ3:不足点の充足と脱 CO2 社会実現による経済成長と持続的発展に向けた議論・提言作成

## フェーズ1 (2021年4月～6月)

### 第1回 2021年4月23日(金) (講演)

演題:エネルギー基本計画の改定に向けた検討

講師:小野 洋太 氏 (経済産業省 資源エネルギー庁 資源エネルギー政策統括調整官)

### 第2回 2021年5月20日(木) (講演)

演題:イノベーションによるゼロエミッション社会の実現

講師:吉野 彰 氏 (産総研ゼロエミッション国際共同研究センター長 ノーベル化学賞受賞者)

### 第3回 2021年7月2日(金) (講演)

演題:人新世の環境危機は技術で解決できるのか

講師:斎藤 幸平 氏 (大阪市立大学 講師)

## フェーズ2 (2021年7月～2022年3月)

### 第4回 2021年7月28日(水) (講演)

演題:脱炭素社会の実現に向けた環境省の取組

講師:関谷 毅史 氏 (環境省 地球環境局 総務課長)

### 第5回 2021年8月20日(金) (講演)

演題:検討中

講師:柏木 孝夫 氏 (東京工業大学 特命教授・先進エネルギー国際研究センター長)

- ・ 第6回以降は現在検討中。講演を中心に8～9回程度実施予定。
- ・ 脱 CO2 社会実現に向けた、排出抑制、排出ゼロ、資源化の各技術と ESG 経営/投資動向をエネルギー・電力供給側と利用側双方の視点から、それぞれの知見を有する有識者、事業者による講演・意見交換を実施。
- ・ 各講演テーマ・内容については「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」<sup>\*</sup>等も視野に入れ決定する。

## フェーズ3 (2022年4月～2022年9月)

- ・ 次年度においてはフェーズ1、2の実施後、不足と認識された分野について知識を補いつつ、技術経営に資する議論を深め、提言に向けた意見形成を行う。

## その他

- ・ 当専門委員会活動をきっかけとして、関係各所からの意見提起等を求められた場合や、提言の機会が訪れた場合は、各フェーズの進捗状況に関わらず、幹事会社を中心に可能な範囲で対応することとしたい。

※「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」について

- ・ 経済産業省が関係省庁と連携し2020年12月25日に策定。菅政権が掲げる「2050年カーボンニュートラル」への挑戦を、「経済と環境の好循環」につなげるための産業政策。
- ・ 主な内容は14の重要分野ごとに、高い目標を掲げた上で、現状の課題と今後の取組を明記し、予算、税、規制改革・標準化、国際連携など、あらゆる政策を盛り込んだ実行計画を策定。
- ・ 経済産業省はこの戦略を、着実に実施するとともに、更なる改訂に向けて、関係省庁と連携し、目標や対策の更なる深掘りを検討していくことを検討していく。
- ・ 14の重要分野は以下のとおり  
①洋上風力産業、②燃料アンモニア産業、③水素産業、④原子力産業、⑤自動車・蓄電池産業、⑥半導体・情報通信産業、⑦船舶産業、⑧物流・人流・土木インフラ産業⑨食料・農林水産産業、⑩航空機産業、⑪カーボンリサイクル産業、⑫住宅・建築物産業/次世代型太陽光産業、⑬資源循環関連産業、⑭ライフスタイル関連産業

[参照]経済産業省 Web サイト

<https://www.meti.go.jp/press/2020/12/20201225012/20201225012.html>